

前期共通プログラム 第2日目
【講義と演習⑤】生活困窮者支援における社会資源の活用と連携・協働(テキスト第5章)
演習用事例シート (No. 1)

事例紹介者 (勝部 麗子)

事例タイトル	母親の介護により収入減少した母と息子の就労支援		
(支援を受けた方の)年齢	61歳	性別	男性
家族状況	母 90歳		
相談の経路	民生委員→社協なんでも相談→相談支援センター		
関係した機関・団体	相談センター・多重債務相談・男性介護者交流会・地域就労支援センター・地域包括支援センター・老人保健施設		
<p>■ケースの概要 (注: ①発見者、②つないだ人、③相談の内容と対応、④本人の考え、本人や家族の抱えている課題)</p> <p>①民生委員が要介護状態の母親の見守りをしていて介護保険の申請を勧めた。②ケアマネジャーがサービスを進めるも全くサービス利用をしようとしなない息子にネグレクトの疑いで地域包括支援センターに相談。その後、CSW に相談。民生委員とともに訪問すると息子が自殺をほのめかし、生活困窮が発覚。 母親の年金額 16 万円・息子 5～6 万の収入があったが、母親の調子が悪くなり一人で留守番ができなくなってきたため、収入が減少。家賃(8 万円)も滞納し、ライフラインが止まってしまうこと借金が増え、悲観し自殺をほのめかす。息子は介護と仕事の板挟みでうつ状態になっていた。転居する資金もない。</p> <p>③④本人と面接・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母親の年金があるので自分で仕事を増やしたいが母親の介護が必要になり目が離せない。体調も悪く医者にも行けない。家賃滞納が続き、どこから手をつけたらよいのかわからない ・ 母親…息子を溺愛(息子が死ぬまで生きていて食べさせてやる) トイレにひとりで行けなくなってきている ・ 息子…パニック障害、うつ、公共交通機関使えない*自家用車保有 ・ 自営業…保険の代理店(他の仕事はできていない。) ・ 普通自動車免許有 ・ 息子…介護の方法もわからない、孤立している 			